

## 1. 研修実施実績

医療的ケア児等コーディネーター養成研修及び医療的ケア児等支援者養成研修

- 実施期間：講義 令和6年1月17日、1月22日  
 （コーディネーター養成研修及び支援者養成研修共通）  
 演習 令和6年2月26日、27日  
 （コーディネーター養成研修のみ）

○実施機関：地域生活支援課

○養成実績 ※令和元年度は、堺市在住者を含む。

年度	令和元年度 ※	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
コーディネーター研修修了者	33	17	17	35	38	140
支援者研修修了者	128	132	105	119	87	571

## 1. 調査概要

調査時期 令和5年度（令和6年2月）

調査対象 大阪府内43市町村

回答市 42市町村

調査内容

- ・令和5年度末時点での医療的ケア児等コーディネーターの配置の有無
- ・配置しているコーディネーターの配置状況、配置場所
- ・令和6年度以降のコーディネーター養成数
- ・今後に向けた課題  
等を選択式及び記述式にて回答

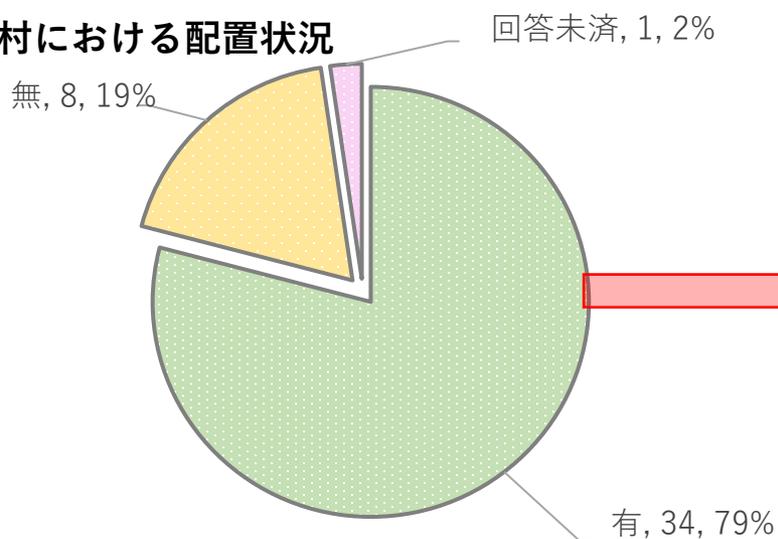
## 2. 配置状況（43市町村）

- ・ 配置有34市町（前年比+3）、配置無8市町村 回答未1市（令和6年3月4日時点）
- ・ 配置有と回答した34市町村における配置形態・配置数
 

市町村単独で配置・1名	5市町
市町村単独で配置・複数名	27市町村

医療関係、福祉関係の両方で配置ありと回答したのは18市町村

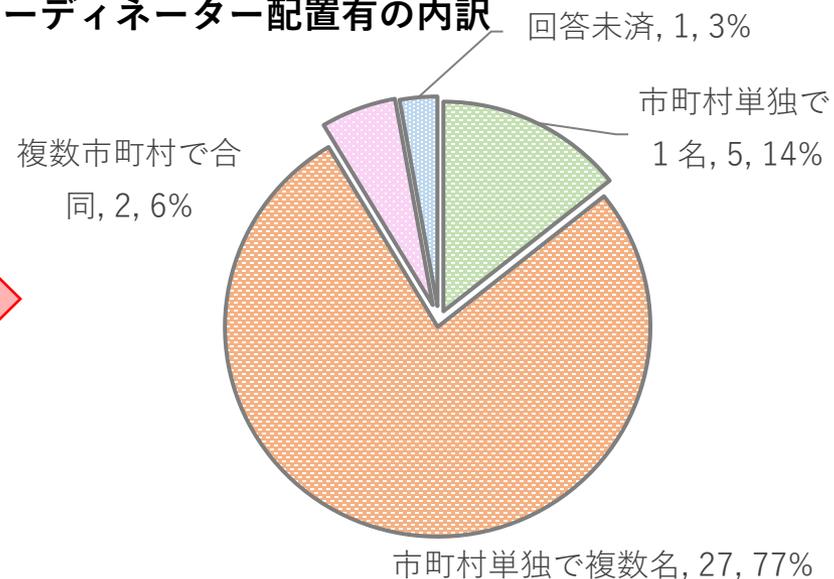
### 市町村における配置状況



【福祉関係の配置状況】（単位：市町村）

有	35
無	7
回答未	1
<b>総計</b>	<b>43</b>

### コーディネーター配置有の内訳



【医療関係の配置状況】（単位：市町村）

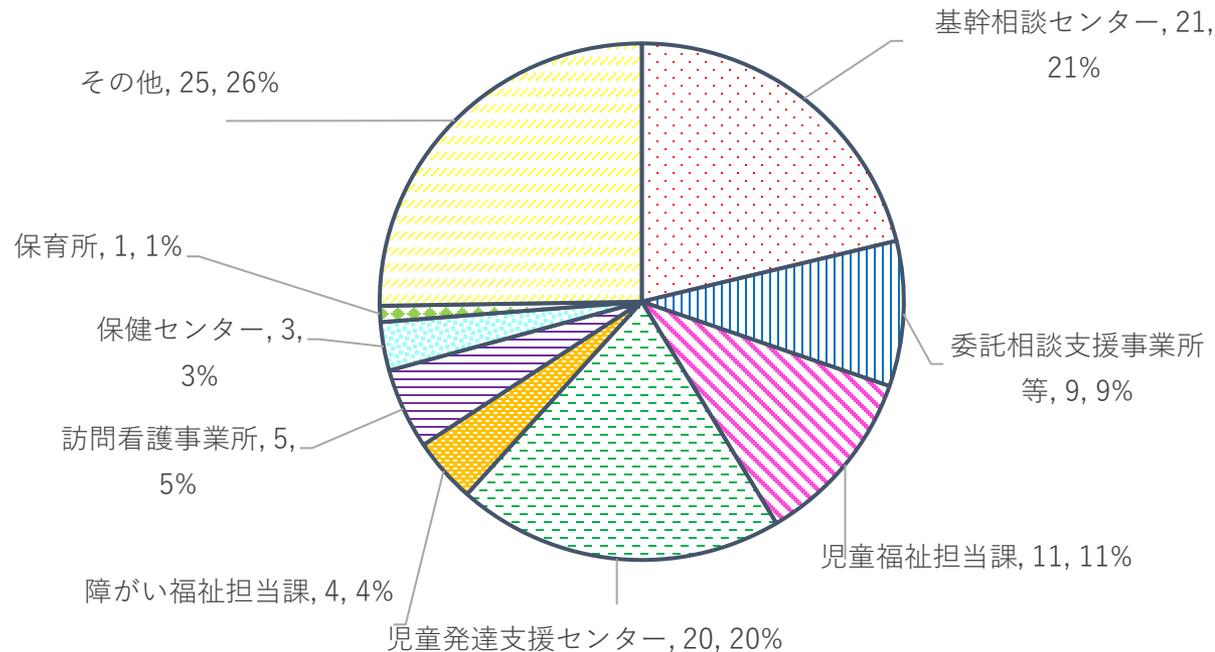
有	34
無	8
回答未	1
<b>総計</b>	<b>43</b>

### 3. 配置場所（大阪市・堺市、未回答市を除く40市町村）

- 32市町村 99名 【令和5年度末時点】 ← 29市町村 66名 【令和4年度末時点】
- 最も多いのは基幹相談支援センター、委託相談支援事業所であり、計30名。  
昨年度調査においても、相談支援事業所に配置しているとの回答が最も多い。  
配置場所の傾向は昨年同様であるが、配置事業所数は昨年度より増加している。

※大阪市、堺市は、それぞれ独自にコーディネーター養成研修を実施し、配置体制の考え方も異なることから、2市を除いて分析を行っている。

#### コーディネーターの配置場所



## 4. 今後の展望（大阪市・堺市、未回答市を除く40市町村）

### ◆令和6年度の配置予定

- ・ 令和6年度に福祉関係の配置を完了すると回答したのは36市町村。  
医療関係の配置を完了すると回答したのは28市町村。  
福祉・医療の区分なしで1名検討と回答したのは1市。
- ・ 令和6年度中に、いずれも配置予定なしと回答したのは1市。

### ◆活動の課題

- ・ 実質的な活動がまだ行われていない、どのように活用していくかが明確になっていない。
- ・ コーディネーターの周知がまだまだ不十分である。
- ・ 庁内外の関係機関と連携した支援体制の構築等が不十分。
- ・ 市内在住の医療的ケア児の実態把握ができていない。
- ・ 医療的ケア児等コーディネーターの役割と、既存のコーディネート事業の一つでもある各相談支援事業の役割との境界が明確になっていない。
- ・ 医療的ケア児支援センターとの相談しやすい体制づくり。

### ◆要望

- ・ 受講枠の拡大、確保。
- ・ 他市のコーディネーターの活動状況を知る場、事例検討の場



- ・ **医療的ケア児及びその家族等がコーディネーターの存在を認識し、相談しやすい体制づくり**
- ・ **コーディネーターの活動の課題の把握や情報共有の仕組みづくり（好事例の共有）**
- ・ **支援人材の継続的な養成**